

JA職員、農業法人・農業者、自治体職員の皆さまへ

水戸ほ場農福連携支援研修 の開催について

令和元年度

令和元年度より、農林水産研修所つくば館水戸ほ場にて、JA職員、農業法人・農業者、自治体職員の皆様を対象とした、2泊3日の農福連携支援研修を開催します！

興味・関心がある方はお気軽にお問合せください！

- ・ 障害がある方が働きやすい環境って？
- ・ どんなふうに雇えばいいの？
- ・ 実際に雇っている方のお話を聞きたい！
- ・ どこに相談すればいいの？

農業法人・農業者

- ・ 農福連携って難しいなあ。
- ・ どうすれば推進できるだろう？
- ・ どんなメリットがあるのかな？
- ・ 先行事例について聞きたい。
- ・ どんな支援策があるの？

自治体職員、JA職員

開催日程 以下の通り、ご所属に応じて開催日程が変わります。各回とも定員20名です。

対象	開催日程	各回申込〆切
JA職員	第1回：9月17日(火)～19日(木) 第2回：12月11日(水)～13日(金)	(募集終了) 10月10日(木)
農業法人・農業者	第1回：11月12日(火)～14日(木) 第2回：2月5日(水)～7日(金)	9月5日(木) 11月28日(木)
自治体職員	第1回：11月19日(火)～21日(木) ※普及指導員の方は8月27日(火)～30日(金)の研修と同様です。	9月9日(月)

※ 8月7日(水)申込〆切更新

研修概要

農福連携の推進に向けた関係者向けの研修です。参加費は無料です。

対象ごとの農福連携の取組や事例、支援策などを座学形式で講義。農業経営者の方には実践的な内容を、JA職員・自治体の方には指導力の向上を目指せるような内容を予定しています。

農福連携とは？

障害者等の農業分野における就農・就労を促す取組であり、担い手不足や高齢化が進む農業分野において、働き手の確保や、誰もが働きやすい環境づくり、ひいては作業工程等の見直しによる経営発展につながるものです。



1. 申込方法

農林水産省Webサイト（<http://www.maff.go.jp/j/press/seisan/gizyutu/190704.html>）
または（http://www.maff.go.jp/j/kanbo/tukuba/mito/zyuko/01_noufuku.html）より、
「農福連携支援研修申込票」をダウンロードし、必要事項を記入の上、期間中に以下の申込先までご提出ください。なお、期限までに定員を超える応募があった場合、募集を締め切る場合がございます。



各研修開催日の1カ月前までに、申込票記載の連絡先まで、会場へのご案内や事前の提出資料（自己紹介、ご関心事項など）などを合わせてご連絡いたします。

受講希望者が定員を超えた場合の人数調整等により、やむをえず受講をお断りすることがございますが、この場合も速やかにご連絡いたします。

申込先 nouhukukensyu@maff.go.jp

2. 研修内容

座学講義を中心とした、**2泊3日**の研修です（意見交換などを含む）。
詳細は以下掲載の日程表案をご覧ください。日程表は更新がありえます。
（<http://www.maff.go.jp/j/press/seisan/gizyutu/190704.html>）
（http://www.maff.go.jp/j/kanbo/tukuba/mito/zyuko/01_noufuku.html）



会場：農林水産研修所つくば館水戸ほ場です。
水戸市鯉淵町5930-1
最寄り駅：JR常磐線友部
JR友部駅より無料送迎バスを運行します（3名以上乗車）。

3. 注意事項

- ✓ 受講料はかかりませんが、**研修に係る交通費・宿泊費については、受講生自らまたは所属組織においてご負担**いただきます。ただし、JR友部駅～水戸ほ場間の移動については原則、申込時の希望に応じて無料送迎バスを用意いたします。
- ✓ また、研修に先立って、各自で研修期間中の**宿泊施設をお早めにご手配**ください（研修施設には宿泊できません）。
- ✓ 1日目は昼13:00開始、3日目は昼12:00頃に終了の日程となります。



研修についてのお問合せ

農林水産省 生産局 技術普及課 研修指導班
担当者：千葉、島津
TEL：03-3593-6497（直通）